

第4学年1組 外国語活動 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月  
指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想

Unit5 Do you have a pen? おすすめの文房具セットを作ろう (Let's Try!2 p.18~21)

単元終了後の子どもの姿	自分が友だちのために作ったおすすめの文房具セットについて、理由までわかってもらえるよう工夫して伝え合っている。互いに作った文房具セットのよさを認め合い、相互理解を深めている。これからの学校生活で、相手に配慮したコミュニケーションが行えるようになっている。		
	<b>知識及び技能</b>	<b>思考力、判断力、表現力等</b>	<b>学びに向かう力、人間性等</b>
単元の目標	文房具などの学校で使う物や持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	文房具など学校で使うものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う。	相手に配慮しながら、文房具など学校で使うものについて伝え合おうとしている。
目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p><b>【めあて】</b> 子どもがおすすめの文房具を紹介する相手を意識し、自分の考えや気持ちを伝え合うためには、どのような工夫が必要であるかに視点を置いためあてを設定する。また、文房具セットを紹介するという単元末の課題につながる毎時のめあてを共有し、目標達成に向かう言語活動に取り組むようにする</p> <p><b>【振り返り】</b> 授業支援アプリを活用し、子どもができるようになったことや、未解決の課題、新たに生まれた課題を蓄積するようにする。また、Smile、Clear Voice、Gestureなどのコミュニケーションスキルの課題については、項目ごとにフォーム作成アプリでグラフ化し、次時につなげるように促す。</p> <p><b>【対話】</b> 授業支援アプリでお勧めの文房具セットを作ったり整理したりして、友だちの好みを見つけていく中で、文房具を選んだ理由を伝えやすくできるようにする。</p>		
実態子どもの人	児童は、これまで好きな天気や曜日、遊びを伝え合う経験をしている。	目的や場面、状況に応じて表情やジェスチャー、声量を工夫していると答えた児童は80%である。	協力して言語活動を行うことができるが、友だちの工夫点等を取り入れるまでには至らない児童が多い。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>話すこと[発表]</b></p> <p>①文房具などの学校で使う物や持ち物について、I have/don't have ~. Do you have ~? などを用いて、話すことに慣れ親しんでいる。</p>	<p><b>話すこと[発表]</b></p> <p>①おすすめの文房具セットについて相手に伝わるように工夫しながら、文房具などの学校で使う物や持ち物について話している。</p>	<p><b>話すこと[発表]</b></p> <p>①おすすめの文房具セットについて相手に伝わるように工夫しながら、文房具などの学校で使う物や持ち物について話そうとしている。</p>
<p><b>聞くこと</b></p> <p>②学校で使う物や持ち物の言い方、I have/don't have ~. Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't. などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。</p>	<p><b>聞くこと</b></p> <p>②おすすめの文房具セットを紹介するときの参考にするために、世界の子どもたちの学校で使う物や持ち物についての話を聞いて意味が分かっている。</p>	<p><b>聞くこと</b></p> <p>②おすすめの文房具セットを紹介するときの参考にするために、世界の子どもたちの学校で使う物や持ち物についての話を聞き取ろうとしている。</p>

指導と評価の計画（4時間取り扱い ●本時4/4）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
友だちのために作った文房具セットを紹介しよう。	1	1	○文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。	※記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。
	2	1	○文房具などの学校で使う物や持ち物について聞いたり話したりすることに慣れ親しむ。	【知】①、② 観察、ワークシート
	3	1	○世界の子どもたちの持ち物についての話を聞いて、おすすめの文房具セットを紹介する際の参考にする。 ○おすすめの文房具セットを作る。	【思】② 【主】② 観察、ワークシート 振り返りシート
	4	1	●おすすめの文房具セットとおすすめの理由が相手に伝わるように工夫して紹介する。	【思】① 【主】① 観察、ワークシート 振り返りシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

友だちのために作ったおすすめの文房具セットについて、選んだ理由も含め相手に伝わるように、表情や声の強弱など工夫しながら紹介することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (★言語活動)	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	10	1 Warming-Up 前時に学んだことを振り返る。 Let's chant.	○Do you have～? Yes, I do. / No, I don't. ・この前よりすらすら言えた。 ・言い方を思い出せた。	○内容を表す絵を画面に出し、テンポよくジェスチャーを交えながら行うようにする。	デジタル教材
	25	2 めあてをつかむ。	○この前の振り返りから、おすすめの文房具紹介でどんな工夫をすればいいか考えて、めあてを作りましょう。	○子どもの言葉からめあてを設定する。	授業支援アプリ  電子黒板
展開		友だちに作った文房具セットとおすすめの理由を、相手に伝わるように工夫して紹介しよう。			
	3 友だちのために作った文房具セットとおすすめの理由を紹介する。★ Activity	○事前に選んで作った文房具セットを準備しましょう。 ○今から何人かに、モデルとして発表してもらいます。  This is Sakura's pencase. I have a pink pen. I have a pink ruler. I have a pink pencil.  ・こうすればいいんだな。 ・自分ならこんな言い方をしてみたいな。	○文房具の言い方が分からない子どもには、ヒントカードなど提示し、活用するように促す。 ◎【思】① 【主】① おすすめの文房具セットについて相手に伝わるよう工夫して伝え合っている。	ワークシート  ヒントカード	
終末	10	4 まとめと振り返りをする。	○紹介した文房具セットを写真で撮り、授業支援アプリで提出しましょう。 ○次はどんな工夫ができそうですか。 ・できるようになったこと、次にやってみたいこと、新たに生まれた課題を書いている。	○フォーム作成アプリで振り返りを行う場面を設定し、次時に生かすことができるようにする。	フォーム作成アプリ

# 外国語活動

第4学年1組 外国語活動 学習指導案

小学校・外国語活動

実施期間 令和〇年〇月  
指導者 〇〇 〇〇

## 1 単元の構想

Unit5 Do you have a pen? おすすめの文房具セットを作ろう (Let's Try!2 p.18~21)

単元終了後の姿 子どもの姿	自分が友だちのために作ったおすすめの文房具セットについて、理由までわかってもらえるよう工夫して伝え合っている。互いに作った文房具セットのよさを認め合い、相互理解を深めている。これからの学校生活で、相手に配慮したコミュニケーションが行えるようになっている。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元の目標	文房具などの学校で使う物や持ち物を尋ねたりする表現を用いている。	文房具など学校で使うものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う。	相手に配慮しながら、文房具など学校で使うものについて伝え合おうとしている。
	子どもが主体のICT		

ポイント

### 単元(題材)終了時の児童(生徒)の姿

- ・CAN-DOリストも参考にしながら、この単元で身に付いた力を、これからの学習や実生活、将来にどのように生かそうとする子どもを育成するのを示す。
- ・文末表現例 「…ようとしている」「…している」等

子ども35人の実態	ていく中で、文房具を選んだ理由を伝えやすくできるようにする。 児童は、これまで好きな天気や曜日、遊びを伝え合う経験をしている。	目的や場面、状況に応じて表情やジェスチャー、声量を工夫していると答えた児童は80%である。	協力して言語活動を行うことができるが、友だちの工夫点等を取り入れるまでには至らない児童が多い。
-----------	--	---	---

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>話すこと【発表】</b> ①文房具などの学校で使う物や持ち物について、I have/don't have ~. Do you have ~? などを用いて、話すことに慣れ親しんでいる。	<b>話すこと【発表】</b> ①おすすめの文房具セットについて相手に伝えるように工夫しながら、文房具などの学校で使う物や持ち物について話している。	<b>話すこと【発表】</b> ①おすすめの文房具セットについて相手に伝えるように工夫しながら、文房具などの学校で使う物や持ち物について話そうとしている。
<b>聞くこと</b> ②学校で使う物や持ち物の言い方、I have/don't have ~. Do you have ~? Yes, I do./No, I don't. などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	<b>聞くこと</b> ②おすすめの文房具セットを紹介するときの参考にするために、世界の子どもたちの学校で使う物や持ち物について話を聞いて意味が分かっている。	<b>聞くこと</b> ②おすすめの文房具セットを紹介するときの参考にするために、世界の子どもたちの学校で使う物や持ち物について話を聞き取るようになっている。

ポイント

### 単元(題材)の評価規準

- ・文頭に、領域を明示する。
- ・1観点到2領域程度で表記する。
- ・単元の目標を、子どもと共有できる表現で書く。

課題等	次	主たる学習活動	評価する内容と方法等
課題等 友だちのために作った文房具セットを紹介しよう。	1	①文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。	※記録に残す評価は行わない
	2		
	3		
	4	伝わるように工夫して紹介する。	振り返りシート

ポイント

### 課題等

目的・場面・状況を明確にし、主体的な学習につながる言語活動を設定する。

ポイント

### 教師の支援

- ・子どもを主体として、本時のめあてに迫ろうとする支援を表記する。
- ・文末表現「~を促す」「~になるように働きかける」等

2 本時の授業計画	3 友だちのために作った文房具セットとおすすめの理由を説明する。★ Activity	①教師の支援 ◎評価 ○内容を表す絵を画面に出し、テンポよくジェスチャーを交えながら行うようにする。 ○子どもの言葉からめあてを設定する。	備考 ・ICT 機器等 デジタル教材 授業支援アプリ 電子黒板
-----------	--	--	---

ポイント

### 本時の言語活動

学習活動の中で、言語活動となる場面に★をつける。

◎【思】① 【主】①
おすすめの文房具セットについて相手に伝えるよう工夫して伝え合っている。

ポイント

### 本時の評価

「Bと判断する状況」を具体的に明示する。